

# AP 療法の手引き



2020年2月

国立がん研究センター中央病院  
乳腺・腫瘍内科 薬剤部 看護部

# はじめに

子宮体がんの治療の中には、再発予防や、がんの進行を抑える目的で行う抗がん剤治療があります。その治療法の一つが AP 療法です。

AP 療法は、ドキソルビシンと、シスプラチンという 2 種類の異なる作用の抗がん剤を組み合わせた治療です。

この小冊子には AP 療法によって起こりうる主な副作用とその対策についてまとめてあります。

抗がん剤の副作用の出かたには個人差があって全ての人に同じように起こるものではありません。薬の種類によってもその特徴が大きく違います。

AP 療法によって起こりうる主な副作用の種類、その予防法、そしてそれが出現したときの対処方法を知ることにより、治療を続けながらより良い日常生活を送れるよう、AP 療法を受けられる皆様にこの小冊子を役立てていただければ幸いです。

# 使用する薬剤

～点滴当日～

《点滴の前に飲む薬》： イメンド®カプセル 125mg 吐き気止め

《点滴で投与する薬》： 6本の点滴ボトルを順番に点滴します。

<u>ボトルの内容</u>	<u>目的</u>	<u>点滴時間</u>
ソルデム1 KCL、硫酸マグネシウム	水分補充	約 1 時間
↓		
グラニセトロン デキサメタゾン	吐き気止め	約 15 分
↓		
ドキソルビシン	抗がん剤	約 15 分
↓		
D-マンニトール	尿量確保	約 45 分
↓		
シスプラチン	抗がん剤	約 1 時間
↓		
ソルデム1 KCL	水分補充	約 1 時間

～投与の予定～ 3週間ごとに6サイクルの点滴を行います。

点滴にかかる時間は約4時間です。

採血を行い、検査データを確認した上で点滴を行います。

サイクル	1			2			3			4			...
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	...
点滴	↓	休	休	↓	休	休	↓	休	休	↓	休	休	...

～必ず飲む内服薬～ 症状がなくても飲みます

《点滴前の内服薬》



**イメンド®カプセル 125mg**



吐き気止め

抗がん剤の1時間以上前に1カプセル服用

《点滴後の内服薬》



**イメンド®カプセル 80mg**



吐き気止め

朝食後に1カプセルずつ服用 点滴翌日から2日間服用



**デカドロン®錠 4mg**



吐き気止め

朝夕食後に1錠ずつ服用 点滴翌日から3日間服用

～38℃以上の発熱時に必ず飲む内服薬～

□シプロキサン®錠 (シプロフロキサシン) 200mg



抗菌薬

1日3回 1回2錠 7日間服用

(熱が下がっても7日間飲み続けて下さい)

(3日経っても解熱しない時は病院に連絡してください)

□クラビット®錠 (レボフロキサシン) 500mg



抗菌薬

1日1回 1回500mg 7日間服用

(熱が下がっても7日間飲み続けて下さい)

(3日経っても解熱しない時は病院に連絡してください)

～38℃以上の熱が出てつらい時に飲む内服薬～

(熱が出てもつらくなければ飲む必要はありません)



□カロナール®錠(アセトアミノフェン) 200mg

発熱時の症状をやわらげる。

38℃以上の熱が出てつらい時に2錠ずつ服用する。

(熱が下がったら、飲み続ける必要はありません)

～気持ち悪いときに飲む内服薬～



□プリンペラン®錠(メトクロプラミド) 5mg

吐き気止め

吐き気がする時に1回に1-4錠服用

(4時間以上空け1日4回まで内服可)

## 抗がん剤　：　ドキソルビシン



ドキソルビシンは、がん細胞の DNA の間に入り込み、その細胞の成長を止め、死滅させる作用を持つくすりです。

くすりの色は赤色をしています。くすりを注射してから1～2日の間、尿や汗に色（赤色・桃色・橙色等）がつくことがあります。その後元に戻ります。

注射部位に違和感や痛みを伴うようなことがありましたらすぐに医療スタッフにご相談ください。

また心臓に既往歴のある方は、事前に医師へご相談ください。

## 抗がん剤　：　シスプラチン



シスプラチンは、プラチナ(白金)を含む金属化合物です。がん細胞内の遺伝子本体であるDNAと結合することにより、がん細胞の分裂を止め、やがて死滅させます。

頻度は高くありませんが、シスプラチンの成分が原因と考えられるアレルギー症状が報告されています。息苦しい・発疹が出る・胸が痛い・顔がほてるなどの症状が現れたらすぐにお申し出ください。



現在、他の薬を服用されていて、薬の飲み合わせなど気になることがございましたら医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

## 副作用とその対策



AP 療法を行った際の副作用はすべての方に起こるわけではありません。その程度には個人差があります。

以下に主な副作用とその対策についてご紹介いたしますので参考にしてください。

### 腎機能障害

腎臓は、体の中の老廃物を排泄し、水分のバランスを調節するなど、体を維持するために重要なはたらきをしています。AP 療法では腎臓の働きが悪くなることがあります。腎障害の予防には、たくさんの尿を出すことが重要です。抗がん剤の点滴前後に水分補充のための点滴と利尿剤を使用して、十分な量の尿が出るようにします。頭痛・むくみなどの症状が続く場合にはご連絡く

### 対策

水分摂取をしましょう。

(可能であれば) 点滴当日 1 L 以上

※無理はしないでください

大量の水分が体の中入ると電解質のバランスが崩れることがあるので、スポーツ飲料なども摂取するとよいでしょう。ふるえやけいれんなどの症状が現れたらすぐにご連絡ください。





## 吐き気・嘔吐

抗がん剤を注射した当日に現れる急性のものと、注射終了2～7日後に現れる遅延性のものがあります。AP療法では、予防のためにあらかじめ吐き気止めの内服薬と点滴を使用します。



### 対策

吐き気が出てしまい、コントロールができなかった時は、次回診察時に工夫をします。吐き気の程度・吐いた回数・食事の摂取量・排便の状況を担当医に伝えてください。

食事が摂れないときは、なるべく水分を摂るようにこころがけましょう（水・フルーツジュース・スポーツ飲料など）。消化の良いものを少量ずつ何回かに分けて摂るのも良いでしょう。

また、趣味を楽しみ、気を紛らわすことも時に効果的です。

### MEMO ～吐き気と便秘～

吐き気を止めるお薬の一つであるグラニセトロンで、便秘を引き起こすことがあります。便秘は吐き気の原因の一つであり、便秘が続くとさらに辛くなってしまうため、適宜下剤を利用し、定期的に排便があるようにしましょう。

また、抗がん剤の影響で下痢になってしまうこともあります。うまくお薬で便通をコントロールできない時はご相談ください。

## 白血球減少

血液中の白血球は、体内に細菌が侵入しないように守る働きをしています。一般的に抗がん剤を点滴してから1～2週間で白血球の数が少なくなり、3～4週目に回復してくると言われています。白血球が減少すると細菌に対する抵抗力が低下し、発熱や感染を起こす可能性があります。この時期には予防が大切です。

また、扁桃炎・虫歯・歯槽膿漏・痔などがある方は、あらかじめ担当医へご相談ください。

### 対策

感染の予防のために、手洗いやうがいをしましょう。

AP療法では、10人に1人程度の割合で発熱する方がいます。38℃以上の熱がでた場合には抗菌薬（シプロフロキサシン錠）を飲み始め、熱が下がった後も、一週間分すべて飲んでください。飲み始めて3日しても解熱しない時や下痢や嘔吐などの症状が重なった場合には、病院までご連絡ください。



## 脱毛

初回の AP 療法から 2～3 週間が過ぎた頃より、髪の毛が抜けてきます。抜けはじめのところに頭皮がピリピリと痛むことがあります。脱毛は一時的なもので、治療が終了して 2～3 ヶ月で生え始めます。新しく生えてきた髪質が一時的に変わってしまうこともあります、やがて戻ります。



## 対策

頭皮は常に清潔にする必要があるため刺激の少ないシャンプーを手でよく泡立てて優しく洗いましょう。髪の毛が生えそろうまでの期間はかつらやターバン、バンダナ、帽子などを使用すると良いでしょう。あらかじめ髪の毛を短めにカットすると、抜ける量が少なく感じられます。また、カラーやパーマは避けましょう。



orange clover

悩んだり、不安になる前に、外見に関するご心配ごとがあれば、

**アピアランス支援センター**までご相談ください。

※オレンジクローバーはアピアランス支援センターのシンボルマークです

## 皮膚や爪への影響

手足の皮膚にしみができることや、爪が黒くなることがあります。一時的なものが多く、点滴が終了すれば次第に回復してきます。

### 対策

外出の際は直射日光を避けるため帽子や日傘、日焼け止めクリームなどを使用すると良いでしょう。

## 口内炎

おくすりを点滴してから一週間前後すると口内炎が起きることがあります。

### 対策

予防のためには、口の中を清潔にし、うるおいを保つことが重要です。歯ブラシはやわらかいものを使い、しっかりと歯と歯ぐきをブラッシングしましょう。

刺激の強い食べ物や熱すぎる食べ物は避けてください。また口の中に痛みがある場合には、そこに触れないようにストローなどを使って水分を摂るのも良いでしょう。

痛みが続き、食事や水分が摂れない場合には、担当医へご相談ください。

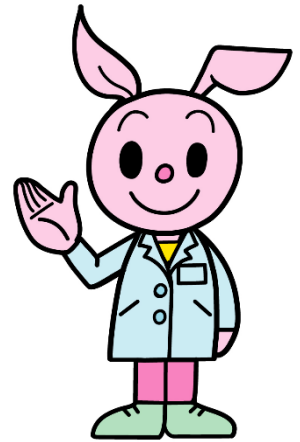


## 聴覚障害

シスプラチンの副作用として高音域での難聴と耳鳴りが知られています。頻度は高くありません。早期発見が重要な対策となります。気になる症状があれば、ご相談ください。

## 注射部位における皮膚障害

このくすりは、注射の際のわずかな漏れでも皮膚障害を起こすことがあります。その注射部位が赤く腫れる場合や痛みを感じる場合には、すぐに医療スタッフへお申し出ください。



MEMO : \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

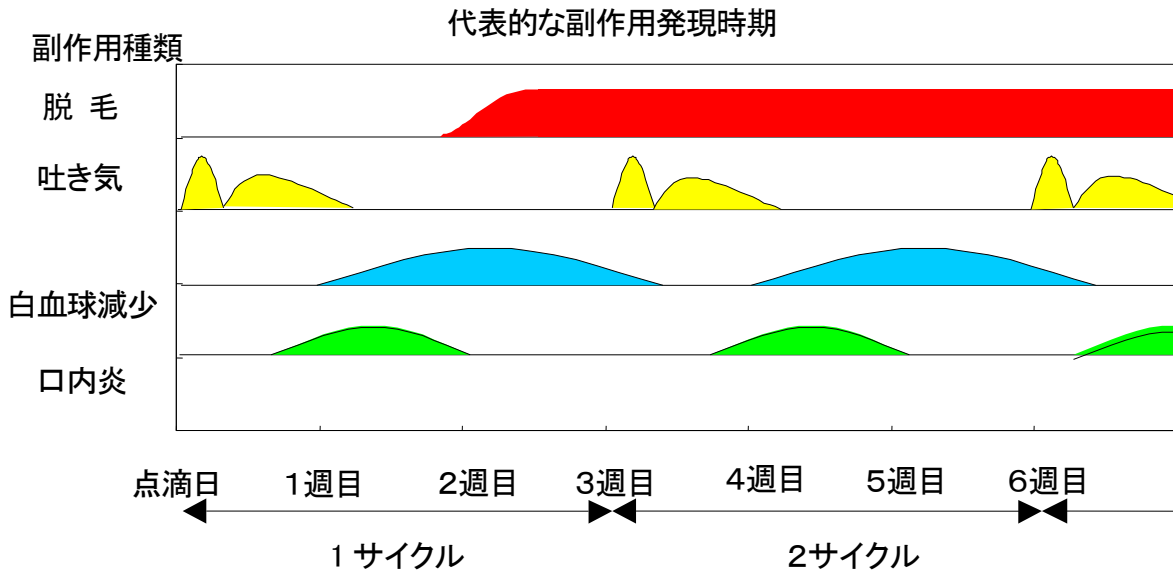
\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

< 代表的な副作用の発現時期 >



監修 国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科  
発行 国立がん研究センター中央病院

編集 薬剤部

編集協力 乳腺・腫瘍内科

看護部

